

【区の将来像】

大地の恵みと伝統・文化にはぐくまれた郷土愛にあふれる、いきいきと暮らせるまち

【目指す区のすがた】

特色ある区づくり事業

I ひととひとがふれあい、 安心していつまでも暮らせるまち

- 空き家対策プロジェクト 80万円
- 地域と取り組む防災事業 180万円
- 地域包括ケアシステム推進事業 280万円
- 地域で子育てネットワーク 140万円
- 園児アグリパーク体験事業 60万円
- 地域元気の種事業 180万円
- 未来創造教室【拡充】 230万円

II 誰もが快適に移動できる 交通の利便性が高いまち

- 南区まちづくり支援事業【新規】 180万円

◎ 施設整備関係

- 老人福祉センター
白寿荘施設修繕事業 3,540万円

III 農商工の連携が、 新たな活力を生み出すまち

- 白根仏壇プロモーション 90万円
- 南区ビジネスプランコンテスト 140万円
- 果樹剪定枝資源循環推進事業 170万円

IV 大凧が舞い、獅子が跳ね、 ルレクチェが実るまち

- 文化施設魅力UP事業【新規】 190万円
- 南区ルレクチェブランディング事業【新規】 80万円
- 大凧合戦観戦クルーズ社会実験 140万円
- 大凧合戦みらいプロジェクト 160万円

◇ 自治協議会提案事業

- 公共交通のPR 100万円
- 防犯・防災の啓発 100万円
- 家族ふれあい月間 150万円
- 出会いの場づくり 150万円
- 南区の魅力発信 100万円
- スポーツ交流 100万円
- まちづくり活動のサポート【新規】 150万円

基本的な考え方

- 平成30年度は、新潟が世界に開かれた港になり150周年の節目を迎え、市民の安心安全な暮らしの実現と活力ある新潟づくりの両輪により、政令市新潟の拠点化とまちづくりを前進させていく年となります。
- 少子・超高齢社会が進展している現在の人口構成をふまえると、急速な人口減少は避けられず、さらに厳しい財政状況が見込まれます。こうしたなか、緊急時・災害時をはじめ、多様化する行政ニーズや重点課題への確に対応し、持続可能なまちづくりを進めていくには、既存事業の成果・効果をしっかり見極め、限られた経営資源の選択と集中を図り、本市の強みを伸ばしていく必要があります。
- これまでの行財政改革をさらに徹底し、組織・人員配置の適正化と合わせ、『収支均衡』と『市債残高を抑制』した財政健全化を強力に推進し、「にいがた未来ビジョン」に掲げる3つの都市像の実現に向けた取り組みにより、「安心政令市にいがた」を確立していきます。

当初予算の概況

建設 ③当初356億+2月補正57億=413億[前年度比△4.6%]

	30年度当初	29年度当初	前年度比	備考
一般会計	3,802億円	3,975億円	△173億円 (△4.4%)	扶助費 +0.8% 普通建設 △17.8%
一般財源	2,469億円	2,533億円	△64億円 (△2.5%)	市税+8.5%、 交付税△0.9%
基金の活用	2億円積立	43億円 (土地基金20億円含む)	収支均衡を達成	
プライマリーバランス (臨財債分を除く)	7億円黒字	42億円赤字	大幅な改善	決算見込ベース 補正・繰越を含む

「安心政令市にいがた」の確立に向けた重点課題への取り組み

新規・拡充の
あるものは◎

数値は事業費規模
カッコ内は増減額(億円)

市民と地域が学び高め合う 「安心協働都市」

ずっと安心して暮らせるまち

- ◎総合ハザードマップ作成・津波避難対策 0.7億円(±0)
- ◎消防活動体制の充実・強化 3.7億円(+0.6)
- ◎介護予防・日常生活支援、基盤整備 31.1億円(+6.4+11カ所)
- ◎認知症対策・地域包括支援センターの運営 8.6億円(+0.4+2カ所)
- ◎障がい者の地域生活、雇用促進・就労支援 161.8億円(+11.4+44カ所)
- ◎障がい者の保健・医療の充実 35.9億円(+1.5)
- ◎特定医療費(難病法)の支給 9.9億円[移譲事務]
- 救急医療の充実 4.2億円(△0.2)
- ◎住環境・耐震改修支援、公共施設改修 22.1億円(+9.0)[2月補正5億円]
- (仮称)市役所ふるまちなか庁舎の整備 0.08億円[債務負担47.5億円]
- 除雪対策 25.4億円(+6.6)

男女共同参画の推進・子どもを安心して産み育てられるまち

- ◎LGBT(性的マイノリティ)の支援 0.02億円[新規]
- ◎公立・私立保育園等の運営と整備 257.1億円(+17.9+定員362名)
- ◎放課後児童クラブの運営と整備 26.9億円(+2.7+利用者640名)
- 妊産婦及び子ども医療費の助成 19.9億円(△0.4)

学・社・民の融合による教育を推進するまち

- ◎特別支援教育支援員の配置 5.0億円(+0.9)
- ◎就学援助費 10.9億円(△0.8)
- 学校施設の整備 13.6億円(+1.8 改築3カ所)[2月補正33億円]

地域力・市民力が伸びるまち

- 地域活動への支援・奨励 14.9億円(62制度△1.2)
- 特色ある区づくり事業 2.4億円(±0)

田園と都市が織りなす 「環境健康都市」

地域資源を活かすまち

- ◎みなとまち新潟の推進(新潟開港150周年関連) 10.4億円
 - 新潟開港150周年事業の推進 0.3億円
 - 海フェスタにいがたの開催 0.4億円[新規]
 - 水と土の芸術祭の開催 1.9億円(+1.6)
 - 歴史文化魅力発信事業 0.5億円(+0.3)
 - 食文化創造都市の推進 0.3億円(△0.1)
 - 消防艇の更新 2.8億円(+2.7) など25事業
- 新潟発わくわく教育ファームの推進 0.3億円(±0)
- 農産物高付加価値化・6次産業化の推進 0.2億円(△0.2)

人と環境にやさしいにぎわうまち

- 古町通7番町地区第一種市街地再開発の推進 16.2億円(△0.6)
- ◎商店街の活性化 1.9億円(△0.6)
- ◎健康寿命の延伸に向けた取り組み 0.3億円(+0.1)
- 感染症・生活習慣病の予防 32.9億円(△1.4)
- ごみ分別の徹底と資源化の促進 10.6億円(△0.2)
- ◎基金を活用した公共施設の低炭素化推進 0.2億円[新規]
- ◎生活交通確保維持強化・交通システム高度化 6.4億円(△1.0)
- ◎空き家活用の促進 0.3億円(△0.1)

誰もがそれぞれにふさわしい働き方ができるまち

- ワーク・ライフ・バランスの推進 0.1億円(±0)
- ◎新潟暮らし創造運動の推進 0.1億円(±0)
- UIJターンの促進 0.1億円(△0.1)

日本海拠点の活力を世界につなぐ 「創造交流都市」

役割を果たし成長する拠点

- ◎元気な農業応援事業 7.9億円[創設]
- 県農林水産業総合振興事業 1.8億円(+0.2)
- ほ場整備の支援 1.3億円(△1.2)[2月補正1.6億円]
- 多面的機能支払交付金事業 14.9億円(△1.5)
- 食と花の魅力向上 0.6億円(+0.1)
- 工業振興条例助成・立地促進補助金 6.4億円(△1.4)
- 新潟駅周辺地区の整備 40.3億円(△22.2)
- 新潟中央環状道路の整備 49.4億円(+4.7)[2月補正10億円]

雇用が生まれ活力があふれる拠点

- ◎次世代につながる魅力ある店舗への支援 0.5億円[創設]
- 中小企業生産性向上設備投資補助金 1.0億円(±0)
- 創業しやすい環境づくり・創業サポート 0.5億円(±0)

魅力を活かした交流拠点

- ◎魅力の発信・誘客の推進 2.7億円(△0.4)
- 文化創造活動・交流拠点施設の運営と整備 38.0億円(△17.8)
- マンガ・アニメを活かしたまちづくり 1.3億円(△0.2)
- ◎スポーツの推進・オリンピック・パラリンピック 5.1億円(+0.9)

世界とつながる拠点

- ◎広域連携誘客・外国人誘客・クルーズ船誘致推進 0.9億円(±0)
- 国際交流・多文化共生の推進 1.3億円(△0.2)
- ◎新潟港・新潟空港の利用活性化、整備 1.9億円(△0.7)

限られた経営資源を重点課題へ注入

組織・職員配置の適正化

- 全事務事業点検に基づき、仕事のあり方・やり方を精査
- 1 効率的な行政運営に向けた組織見直し △22組織
 - 2 仕事のあり方・やり方の見直しによる職員配置の適正化
・非常勤職員・臨時職員の配置適正化 △2.5億円

全事務事業点検の実施

- 【対象事業 1,504 30年度効果額 △45.8億円】
- うち 整理統合・サービス水準の見直し等 187事業 効果額 △8.2億円
補助金・繰出金の見直し 106事業 効果額 △23.9億円
休止・廃止・(一部を含む)等 272事業 効果額 △6.1億円
ほか 内部事務・歳入改革等 939事業 効果額 △7.6億円

その他 中長期的な展開

- 1 市債残高の段階的抑制[投資的経費の更なる見極め]
プライマリーバランスの黒字化堅持。2022年度までに3,800億円以下。
- 2 財産経営の推進[利用状況やコストを意識した公共施設の最適化]
地域とともに利用状況やコストを見据えた公共施設のスリム化。
- 3 地域活動への支援・奨励制度の整理統合[事業の簡素化・集約化]
事業の整理統合を進め、地域の利便性とサービス向上を図る。